



みさき

26号

美咲町議会だより



主な内容

厳しさを増す町財政

22年度決算報告

3

百条調査委員会報告

8~9

行政施策の方向性をたず

12人の議員が一般質問

10~21

9月定例会の報告

8月31日から
9月20日まで

定例会が招集され、23年度一般会計補正予算など予算27件、条例5件、その他2件、報告3件の議案が上程された。

条例の制定

条例の制定などが上程され、審議の結果全会一致で承認した。主な内容は次のとおり。

暴力団を恐れない、利用しない

◎暴力団排除条例

岡山県暴力団排除条例の制定に伴い、美咲町においても条例を制定する。

LED防犯灯設置に補助金交付

◎発光ダイオードを光源とした防犯灯設置

基金条例

各地区が管理してい

る防犯灯をLED防犯灯に取り替える場合の補助金に充てるため基金条例を制定する。

みさきネットのサーバーなどを更新

◎みさきネット施設整備及び維持管理基金

条例

事業開始から6年が経過するみさきネットのサーバーなどの機器を更新整備するための基金条例を制定する。

条文の一部を改正

◎町税条例の一部を改正する条例

正する条例

国の地方税法の法律改正に伴い所要の改正

を行う。

町内への企業誘致奨励要件の見直し

◎企業誘致条例の一部を改正する条例

借地による企業立地を促進するための条例改正を行う。

その他案件

工事請負契約案が上程され、審議の結果全会一致で承認した。主な内容は次のとおり。

◎工事請負契約の締結

◇加美小学校ランチルーム新築工事
蜂谷工業(岡山市)

(有)黒瀬建設(美咲町) 特定建設工事共同企業体

加美小学校にランチルームを新設するための工事を八千六百万円で契約する。

◎工事請負契約の変更

◇みち停新築工事

浮田建設(津山市)
(株)アサヒ防災工事
(美咲町) 特定建設工事共同企業体

旭総合支

所となりに新築するみち停の契約内容に変更が生じたため、契約金額を五千七百八十六万五千五百円に変更する。

陳情・要望

敬称は省略させていただきます。

国・県に対して私学助成の拡充を求める意見書提出に関する陳情

「民生教育常任委員会付託」

岡山県私学助成を進める会
会長 小橋 操

私立高校の学費の現状を十分調査する必要があり、全会一致で

継続審査とした。

有害獣、猪・ヌートリア等駆除の為大坪和地区内狩猟免許所持者全員に期間外駆除の特別許可証交付に関する陳情

「産業建設常任委員会付託」

大坪和区長協議会
会長 小林 強

町内全体の有害鳥獣駆除は、美咲町猟友会が対応しており、一地

が対応して

域だけを対象とした許可証交付はできないため全会一致で不採択とした。

土砂災害への対応を求める要望

「産業建設常任委員会付託」

安井地区
住民代表 岡本二郎

町執行部で対応しているものもあるため全会一致で趣旨採択とした。



12月21日オープン予定の「みち停」

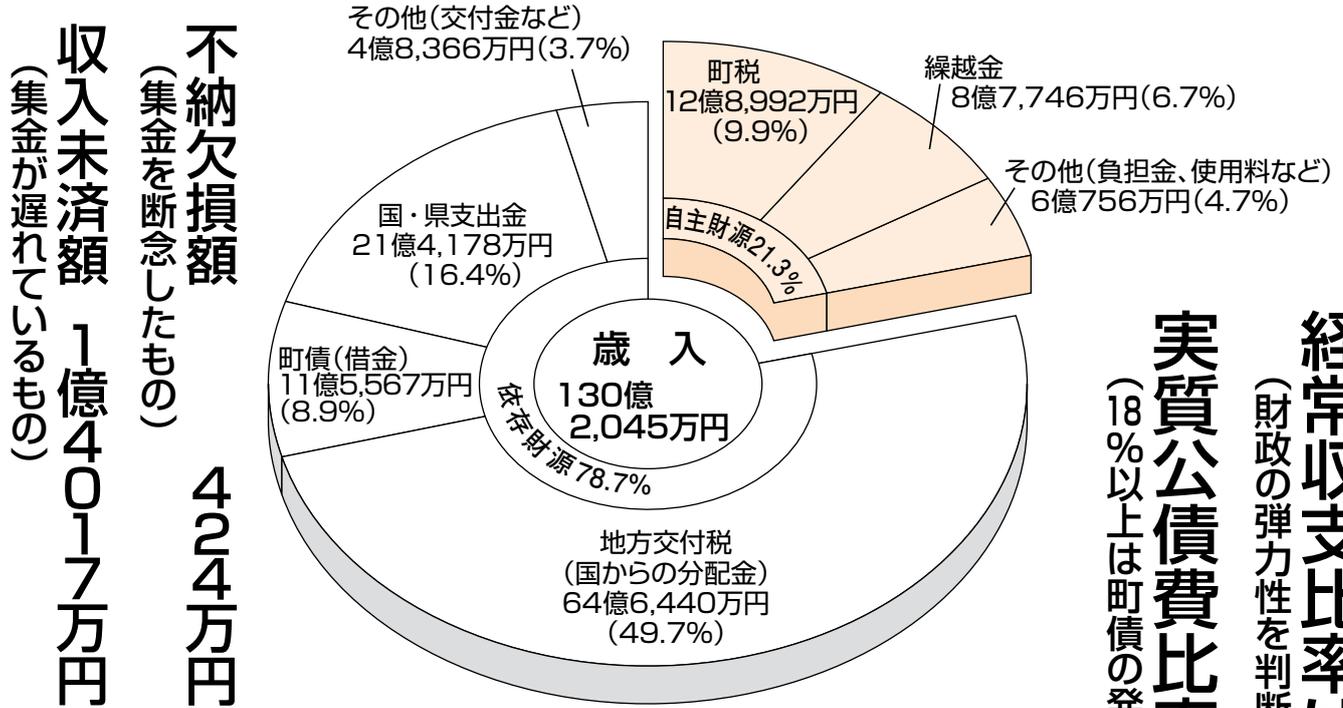
厳しさを増す 美咲町の財政

歳入130億2,045万円 (21年度比9.0%の増)

自主財源は約27億円 借金の返済に約26億円

22年度歳入歳出決算報告

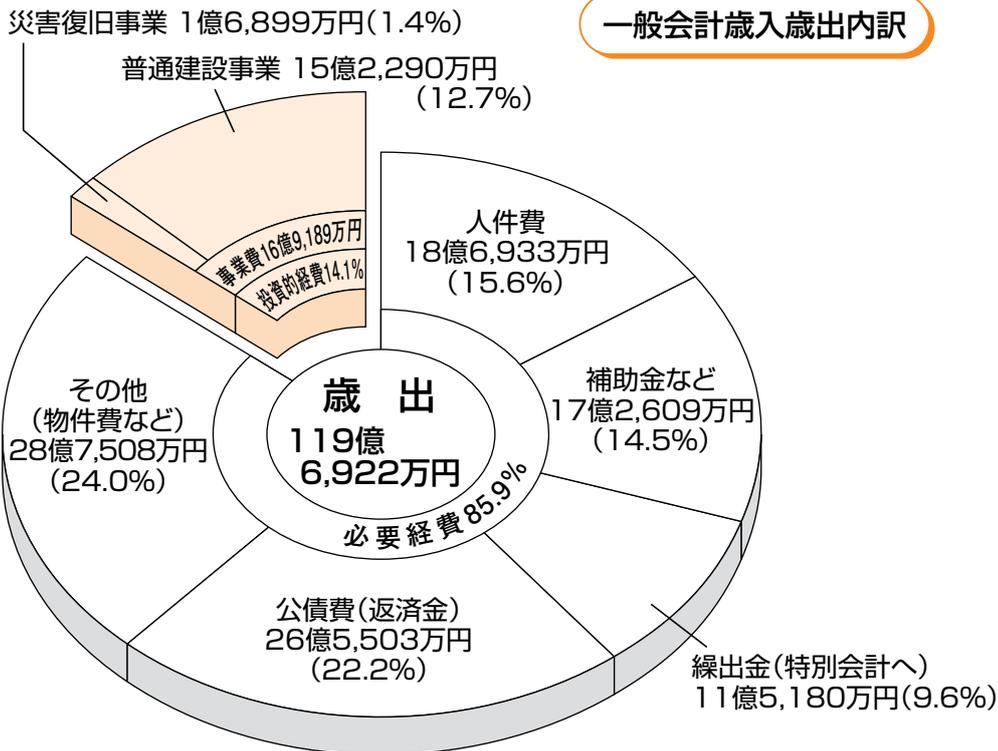
一般会計決算



経常収支比率は81.6%にやや改善
(財政の弾力性を判断する指数 75〜80%が健全とされる)

実質公債費比率は19.2%と依然として高い
(18%以上は町債の発行に県の許可が必要)

一般会計歳入歳出内訳



健全財政には一定の評価

決算認定特別委員会

9月13日・14日に執行部から提出された決算事務報告書を基に平成22年度の事業内容、執行状況など説明を受けた。

一般会計と27特別会計の概要は図表のとおりである。

特別地方交付税・地域活性化交付金増加の影響、財政全般の節減合理化などにより一般会計の収支は八億八千万円の黒字決算。地方債残高の減少、充当可能基金残高の増加などは一定の評価ができる。

早期健全化比率は基準内であり、経常収支比率も改善されつつあるが、今後の財政運営は非常に厳しいものがある。自主財源の確保、経費節減に努めながら計画性のある財政運営を求め、22年度決算を賛成多数で承認した。

◆採決の結果、22年度決算は賛成多数で承認。

金谷議員	賛成	小島議員	反対
松田議員	賛成	草薙議員	賛成
江原議員	賛成	松島議員	賛成
林田議員	賛成	日神山議員	賛成
岩野議員	賛成	岡田議員	賛成
梁山議員	賛成	下山議員	賛成
角南議員	賛成	貝阿彌議員	賛成
山本議員	賛成		

特別会計決算

特別会計の事業運営には より効率性を求める

22年度 27特別会計の内訳

	特別会計内訳	歳入額	歳出額
貸付事業	住宅新築資金等貸付事業	1,843万円	4,873万円
	バス運行事業	1,542万円	1,480万円
バス運行事業	津山・西川線共同バス運行事業	1,719万円	1,552万円
	旭川ダム沿線バス運行事業	3,563万円	3,406万円
	国民健康保険事業	18億7,540万円	18億5,277万円
保険事業	老人保健事業	2,521万円	2,521万円
	介護保険事業	18億8,436万円	18億5,983万円
	介護サービス事業	812万円	800万円
	久米郡介護認定審査事業	944万円	927万円
	国民健康保険診療所事業	695万円	653万円
	久米郡障害程度区分認定審査事業	126万円	104万円
	後期高齢者医療	1億9,880万円	1億9,727万円
	水道事業	2,872万円	1,245万円
水道事業	柵原飯岡簡易水道事業	1億4,931万円	1億4,415万円
	柵原中央簡易水道事業	5,721万円	4,203万円
	旭統合簡易水道事業	1億7,225万円	1億6,832万円
	中央簡易水道事業	1億8,122万円	1億7,067万円
	中央北部簡易水道事業	3,544万円	1,720万円
	中央打穴・大坪和簡易水道事業	8,723万円	7,386万円
	下水道事業	1億2,717万円	1億1,757万円
	柵原公共下水道事業	5億37万円	4億5,914万円
	中央公共下水道事業	6億353万円	5億8,882万円
	その他	みさきネット事業	1億6,956万円
三休公園事業		1,432万円	1,361万円
土地開発事業		1,290万円	1,222万円
用地取得造成事業		6,595万円	6,003万円
倭文西財産区		25万円	0万円

歳入決算総額

63億1億64万円

歳出決算総額

61億2億1億13万円

決算認定特別委員会

主な質疑応答

【総務課】

問 瞬時警報システムとはどのような内容のものか。

答 緊急事態に対応するもので、気象情報も含まれる。国から直接各自治体へ送信

【企画財政課】

問 実質公債費比率19・2%は県下最悪であるが、今後の財政見通しはどうか。

答 23年度以降少しずつ減少し、26年度には17・9%を予測している。

【情報交通課】

問 みさきテレビへの加入者を増やす努力はしているか。

答 共聴アンテナ組合でのデジタル対応もあり大幅な増加は見込めない。番組の充実などで加入促進を図る。

【税務課】

問 不能欠損（集金断念）となる原因は何か。

答 相続放棄、倒産、所在不明、生活保護への移行などが主なもの。

【上下水道環境課】

問 津山圏域資源循環施設組合の新ゴミ処理場に対するこれまでの負担金総額は。

答 22年度末までで六千五百万円の負担金を支出している。

【産業観光課】

問 ニートリアの一斉駆除で238匹を捕獲とあるが、今後継続するのか。

答 県事業で行ったもので、23年度も予定している。

【建設課】

問 建設課が担当する予算が増加しているのはなぜか。

答 国から地域活性化、景気対策などの交付金が交付され、今までにできていなかった工事を行ったため。

【住民課】

問 町営・町有住宅使用料の滞納処理が進んでいないのは何故か。

答 20年前からの長期滞納などもあり苦慮している。今後も努力を続ける。

【保健福祉課】

問 国民健康保険の基金残高は。

答 基金残高は22年度末で六千五百万円。2年連続で赤字会計となっているため3割程度の保険料負担増が必要となってくる。

【健康増進課】

問 老人憩いの家などの管理費用が不均一である。統一すべきでは。

答 目的、使用方法が旧町で異なっており、現在に至っている。町として統一を検討する時期にきている。

【教育総務課】

問 二学期制の導入は成果があったとの報告になっている

が、是非を問うアンケートの実施はなぜか。

答 制度導入から6年が経過する。これを検証するためのアンケートである。

【生涯学習課】

問 エイコンスタジアムへの広告募集の経過は。

答 あまり進んでいないが、電光掲示板での広告は実施した。



農作物被害の元凶であるヌートリア



広告募集でより一層の有効活用を
(エイコンスタジアム電光掲示板)

常任委員会報告

平成23年度一般会計・特別会計補正予算を各常任委員会で審査した結果、全会一致で承認した。

総務

財政調整基金 まちづくり基金などに 3億円を積立

◎一般会計補正予算

歳入歳出に八億七千八百二十三万円を追加し、総額を百二十億三千四百四十万円とするもの。

【主な歳入】

- ☆地方交付税 五億二千三十三万円
- ☆財産収入 千四百二万円
- ☆繰越金 七億八千五百二十万円
- ☆繰入金 四億五千六百万円減額
- 【主な歳出】
- ★基金積立金 三億円

★公用車購入など 六百十九万円

★柵原総合支所庁舎解体撤去事業費 五千二百五十万円

★旭総合支所補修など 四百二十三万円

★集会施設補助金 四百万円

★消防機庫整備など 八百六万円

◎特別会計補正予算

◇みさきネット事業特別会計

★維持管理基金積立金 一億円

★維持管理費 四千八百八十九万円

■主な質疑応答

【総務課】

問 LED防犯灯を設置する場合その費用はどのくらいか。

答 1基あたり二万円程度かかるので、1基につき一百万円の補助金を支給する。

【企画財政課】

問 土地売却代金八百九十五万円の収入はこの土地を売却したのか。

答 吉ヶ原の宅地と藤原の雑種地を売却した。

却した。
【情報交通課】

問 IP電話は今後どうなるのか。

答 IP電話の運営を委託しているソフトバンクがこの事業から撤退する。廃止の可能性が高い。他の運営業者について検討中。

■現地を確認

本年度で打穴下地内に建設を予定している消防団女性部の機庫建設用地を現地確認した。



初めての消防団女性部機庫は緑化公園に建設

民生教育

加美小学校 ランチルーム備品購入 などに1300万円

◎一般会計補正予算

【主な歳出】

★福祉巡回バス購入費 三百十五万円

★こうのとりの事業補助金（不妊治療） 六十万円

★はぐくみ事業補助金（不育治療） 九十万円

★加美小学校ランチルームの備品購入費・駐車場整備費など 千二百九十二万円

★柵原中学校防犯システム整備費など 五百万円

★柵原総合文化センターの備品購入費 四百六十五万円

★中央児童公園の遊具補修費 三百万円

■主な質疑応答

【健康増進課】

問 新規事業として、不育治療を補助する「はぐくみ事業」を県内で行っている所は。

答 真庭市、総社市、井原市が行っている。

【保健福祉課】

問 新規事業の「美咲町災害時要援護者登録制度」とは。

答 災害時に、自力だけでは避難できない人が事前に自分の情報を登録し、有事に安否確認・避難支援が受けられるシステム。

【住民課】

問 保育園の加湿器購入の内訳は。



子どもたちには人気だが維持管理は大変
(中央児童公園)

答 藤原保育園1台、旭保育園5台、柵原西保育園3台、柵原東保育園1台の合計10台購入。

【教育総務課】

問 中央中学校建設に伴う電柱の移転費用は、電力会社の負担ではないのか。

答 移転費用は、原因者負担で町の支払いとなる。

【生涯学習課】

問 柵原総合文化センターの備品購入

の内訳は。

答 テーブル40個、いす350脚、大型スクリーン、プロジェクター各1台である。

■**現地を確認**

中央児童公園内の遊具を現地確認した。老朽化による部品交換が主なもので、大型すり台など合計20基の修繕と修繕対応不可能の2基を撤去するもの。

産業建設

合併処理浄化槽
設置補助金15基分
を追加補正

【主な歳出】

★合併処理浄化槽設置補助金
千百六十四万円

★太陽光発電補助金
二百万円

★土地改良など事業費
九百三十七万円

★新築木造住宅補助金
二百万円

★道路維持管理費など
三千五百二十九万円

★町道改良事業費
四千九百五十三万円

★河川改修費
七百万円

◎**特別会計補正予算**

◇旭統合簡易水道事業
千百三十七万円

◇中央簡易水道事業
維持補修費
四百三十万円

◇中央公共下水道事業
維持補修費
三百万円

■**主な質疑応答**

【上下水道環境課】

問 旭統合簡易水道施設整備の詳細は。

答 併和簡易水道は築後20年を経過して老朽化している。今回は、浄水場のポンプ施設、濁度計、電気設備の修繕工事を実施する。

【産業観光課】

問 「たまごかけごはん」が参加するイベントの計画はあるのか。

答 10月に真庭市と大阪市、12月に東京で開催される観光ブレンディングなど

に参加する。

【建設課】

問 台風12号の被害状況は把握しているか。

答 公共災害が15件で九千三百五十万円、農林災害が35件で八千七十万円。合計50件で被害総額一億七千四百二十万円が現時点

での調査結果である。

■**現地を確認**

長原ダム(新城地内)は中央開拓土地改良区が管理していたが、今年から町が直接管理することとなった。このため現状の視察を行った。



今後の活用を真剣に (長原ダム)

震災の炊き出し支援隊活動についての

百条委員会調査報告（抜粋）

調査の趣旨

東日本大震災の支援活動を岡山県要請のもとに当町が炊き出し支援活動を実施した過程で発生した、職員の行動批判報道（平成23年4月15日・Y新聞紙上に「炊き出し後宴会、配慮欠く言動」と題した新聞報道）に関し、社会的反響が大きく、事実調査を実施し、再発防止に向け、その結果を公表し是正することが本委員会に与えられた使命であり、美咲町民に対して、町が実施した支援活動の事実内容を確認し公表するものである。

主とする調査項目

- ① 東日本大震災の支援活動についての経緯（日程及び行動を含む）
- ② 新聞報道に係る「宴会」及び「配慮欠く言動」についての事実確認
- ③ 飲食に係る費用の詳細
- ④ 公務員としての倫理及びモラルの認識

委員会

調査内容と結果 及び委員の意見

1. 東日本大震災の支援活動については

ばれていた。

2. 新聞報道にあった宴会と配慮欠く言動

については

- 4月5日、ラーメン店での食事（美咲町のみ）形井前副町長の言動「刺身はないのか、お姉さんこっちに来れば」については、同人のメディアに対するインタビューで報道されている言動から事実である。執行部に提出を受けた資料からラーメン店側の対応者は「通常のお客さん」「迷惑は一切無い」等の回答である。
- 平成23年4月15日、Y新聞の見出し「宴会」及び文中の「一

人飲み放題約四千五百円」については、

真実ではなく、料理

は別料金でドリンク類千五百円であり、

15名で飲食代金を割り当て勘定した結果

四千五百円であった。また、同会の趣

旨は、岡山県職員関係者及び真庭市の蒜

山焼きそば関係者との自己紹介もしてい

ないことから、紹介を兼ねて居酒屋で反

省会をしたものである。

調査結果に

基づく委員会の 判断と意見

1. 東日本大震災の支援活動については

○ 意義ある活動であったと判断できる。

2. 新聞報道にあった宴会と配慮欠く言動

については

○ 宴会ではなく反省会であった。配慮欠く言動については、聞こえた人、聞こえなかった人など様々である。調査報告では

避難地の方及び関係飲食店の方は、問題ないとのコメントであった等委員会としても問題なかったと判断した。

○ 全て自費であり公然的には問題はないが、この様な飲食の場合は、あらかじめ

全員の意見をリーダーは聞くなどの取りまとめをする必要があると考えられる。

4. 報道に至る経過検証については

○ Y新聞記者は

★ 一部の言動のみを当町支援参加者3名に確認したのみ。

★ 会津若松市、現地での取材はなく、町外支援参加者には少数確認のみ。

★ 支援活動についての評価記事がなく、噂と検証無き推測による誇張した記事にしている。

○ 新聞社、テレビ局のマスコミ各社の取材に対し「悪いことは悪い、良いことは良

い」と誘導にのらず
自信ある態度で対応
すべきである。

○今後は各マスコミに
取材のあり方や報道
のあり方について
「ペンの重責」を知
らせる必要があると
考えられる。

調査事項に 対する改善等 の意見

1. 執行部の確認報告
書では避難地の方々
及び飲食店関係者
は、形井前副町長の
発言は問題ないとの
コメントである。し
かしながら支援に関
し、統率者の判断能
力の欠如や支援参加
職員を含め職員の公
僕たる倫理観の薄さ
から端を発し、誇大
報道され「有意義な
支援活動」を埋没さ
せた上に美咲町の名
誉を著しく傷つけ、
町民に多大な迷惑を
かけたものと言える。

2. 今回の様な支援活
動については、職員
だけでなく民間人も
含め多くの者を参加
させる体制づくりが
必要である。

3. 「火の無いところ
に煙はたたない」と
いう諺もあるし、火
が無くても煙をたた
せる者が存在するこ
とも確かであるの
で、執行部及び議会
が原因究明の委員会
を設け、それぞれが
別々に対応すること
が美咲町の損失を防
止することからも必
要である。

4. 今回の事案だけで
なく、どんな事柄に
も多くの側面があ
り、主張する理由と
反対する理由があ
る。本当は、それら
を一つ一つ吟味しな
くてはいけないの
に、表情や言葉の選
び方、口調などちょ
っとしたことでの人
の意見は大きく変わ

る。慎重な言動が求
められる。

5. 再発防止のために
は「風通しの良い職
場づくり」「公務員の
倫理観の向上」「行政
機関としてのあり
方」「報告・連絡・相
談」の励行が急務と
言えると考えられる。

執行部に 対する包括的 要望事項

- 本庁及び支所の管理
体制（職務身分を含
む）の組織づくり。
- 公務員倫理と公益通
報者保護法の周知徹
底。
- マスコミ取材に対す
る体制の整備が必要。
- 再発防止に向けた対
応に町長を頂点とし
て職員一丸となり協
力出来る体制の構築。

委員長報告に 対する質疑

問 調査報告書の中
で、百条調査権を
用いなければ調査でき
なかつた項目はどの部
分か。

答 執行部に対して
再発防止に向けた
説明資料を求めた部分
である。

問 今回で百条調査
委員会を設置する
前例ができた。今後も
問題発生後に同様の処
置を講ずるべきと考え
ているか。

答 議論を尽くした
結果によると考え
る。

問 参考人として招
致した職員の個人
名は削除すべきである。

答 調査に基づいた
事実を公表すべき
ものと判断した。

問 職員の処罰につ
いて調査が行われ
ていないのはなぜか。

答 職員の処罰は当
委員会の関与する
ものではないため。

問 百条調査委員会
の設置は定本町長
からの要請があつたの
か。

答 定本町長
真相を究明する
ために私から要請した。

問 委員会が現地調
査を行っていない
のはなぜか。

答 執行部から提出
された参考資料、
現地調査報告書で十分
理解できると判断した。

問 県庁職員、蒜山
焼きそばすいとん
会への調査内容は。話
しは聞けたのか。

答 アンケートによ
る質問に回答を受
けた。

問 この報告書の最
も重要な部分は何
の項目だと考えている
か。

答 執行部への再発
防止に向けた包括
的要望事項である。

問 今回の調査は、
百条委員会でも
できなかったのでは
ないか。

答 調査の検証につ
いては別の場で議
論すべきと考ええる。

◆採決の結果、調査を
終了し調査特別委員
会に付与した調査権
を取り消す件は賛成
多数で承認。

金谷議員	反対
松田議員	反対
江原議員	賛成
林田議員	賛成
岩野議員	賛成
染山議員	賛成
角南議員	賛成
山本議員	反対
小島議員	反対
草薙議員	賛成
松島議員	賛成
日神山議員	反対
岡田議員	賛成
下山議員	賛成
貝阿彌議員	賛成

問

一般質問

議員が町の執行部に対してさまざまな角度から町政について質問する

質問

児童の問題行動
どう改善するのか

関係機関と連携した
取り組みを図る

答弁



下山和由 議員

問 文部科学省は、児童・生徒問題行動調査を22年度に実施した。

これによると中学生の暴力行為、小学生の不登校発生率とともに全国都道府県で岡山県が最悪と報道された。また、その中で小学校の暴力行為については、県内で美咲町が最悪と報告されている。これらの調査結果について、学校と保護者、そして関係機関との協議はできているのか。

答

泉教育長

町内小学校5校のうち問題行動のある学校は1校で関係する児童は1人である。現在学校と緊密な連絡をとり対応している。合わせて教育事務所、県教育センターなど、教育機関の指導も受けている。

また、家庭状況にも多くの課題が見られるため、児童相談所とも連絡をとりながら落ち着かせていくという形で指導を続けている。学校教育活動全体の総括、専門的な指導力・チェック機能などを強化させるため、来年度から指導主事の配属も検討している。

下水道は順調に
進んでいるか

問

中央・柵原公共下水道事業の進捗状況と加入率は。

答

課長代理

中央公共下水道事業の進捗状況は、認可区域147・5ヘクタールの内133ヘクタールが完成、加入率は60・5%。

柵原公共下水道事業の進捗状況は、今年3月1日より一部供用開始しており、現在一次認可区域53ヘクタールの内43ヘクタールが完成、加入率は30%。

合併浄化槽の
設置促進を図れ

問

本年度はすでに合併浄化槽の補助金申請を締め切ったとのことだが、今後促進を進めていくためにも補正予算を組んで町民

答

課長代理

本年度で予定していた33基分は完成・許可済みだが、町民からの要望もあり15基分を補

答

定本町長

合併浄化槽の普及を図るため今年度から通常の補助金額に5万円を上乗せしている。これを来年度も継続させて設置促進を図っていく。



急増する設置要望にどう応えるのか（合併処理浄化槽）

町政を

質問

産・官・学連携で
独自の特産品開発を

農業技術者連絡協会で

協議している

答弁



山本宏治 議員

問

町内には、ピオーネ、黄ニラなどの特産品があるが、同じような種類の生産地は数多く存在する。産・官・学で連携して本町独自の特産品開発が考えられないか。生産品の流通についても会員を募り都市との交流を図る必要がある。

B級グルメは「たまごかけごはん」以外にも工夫が必要では。

答

矢木産業観光課長
美咲町農業技術

者連絡協議会で特産品について協議を行っている。柵原地域では加工グループが年末に特産品の全国発送をしている。

また、商工会などと協力して事業展開をしているところである。

答

定本町長

一村一品運動のように町内も商工会をはじめ頑張っている。

旧柵原鉾山から出る鉾水の沈殿物を利用して「黄色いレンガ」を作っている。これに文字を書いて付加価値を付けることによって、たとえば誕生日、結婚記念日の記念品などに利用できないかと思案しているところだ。

問

「黄色いレンガ」で造ったピザ釜をまきばの館に設置して、米の粉とのコラボレーションは考えられないか。また、「黄色いレンガ」を結婚式の記念プレートに使えないか。

答

定本町長

停滞しているまきばの館の集客にもつながることであり、県とも相談して前向きに検討したい。

問

本町のイベント情報についての問

職員の

情報共有化は

できているか

答

矢木産業観光課長
行政が行うイベ

ントはおおむね把握できるが、各地域が主催する行事はわかりにくい状況がある。

答

難波総務課長

イベント情報だけでなく、問い合わせに対しては調査する配慮も必要である。今後幹部会議などで協議し徹底していきたい。

答

定本町長

地元以外のことにはわからないでは困る。各地区のことも把握してきめの細かい対応ができるように職員を指導していく。



美咲町の特産品となるか「黄福レンガ」

旭川ダム周辺地域の活性化を 合併10周年と 合わせて検討する

答弁



松島 啓 議員

問

旭川ダムは、県下3大河川である旭川の治水、利水、発電を目的として、昭和26年に着工。

当時、戦後の県土復興を向け「県政始まって以来の大工事」と位置づけ、昭和29年に完成した。

その陰で、約四百戸の家屋が水没することとなり、その中で旭地域は町の中心部である西川、栃原地区の約三百戸が移転を余儀なくされた。

ダム完成以来、長年にわたり周辺地域および下流地域を水害から守り、安定した水を供給、また流水による水力発電を行ってきた。3年後の平成26年には、ダム建設60周年を

迎える。

①岡山県と連携して記念事業ができないか。

②ダム周辺地域で、小水力発電施設の設定などを考えてはどうか。

③ダムを利用しての観光事業で西川、栃原地区の活性化を。

答

矢木産業観光課長

②小水力発電施設は、美咲町地域新エネルギービジョンの中で長期の計画があるので、検討していきたい。

答

定本町長

①記念事業は、関係市町4自治体での協議が必要である。また、美咲町合併10周年という節目の年でもある。今後検討したい。

③観光事業は、ヘラブナ、ブラックバスの生息地として有名になっている。6月には、バス釣りのトッププロの全国大会が行われ、たくさんの人で賑わった。水位が安定していないなどの問題もある。

岡山県は、中小高生の暴力行為、小学校の不登校の発生率が、共に全国で最悪と報じられた。

問

岡山県は、中小高生の暴力行為、小学校の不登校の発生率が、共に全国で最悪と報じられた。

さらに本町は、小学校の暴力行為で県内最悪。中学校のいじめ、

子どもの

問題行動に

対策を

り、他の事業は難しい。



トッププロが集結したバス釣り全国大会 (旭川ダム)

答

泉教育長

暴力行為も県平均を上回っている。結果に關して背景・原因など十分把握できているか。今後の対策は。

答

村島健康増進課長

問するもので、本町は他市町より早く生後2カ月での訪問をしており、その時点の数字を報告した。実態は、93・5%訪問しており、残り2人は、外国にいる。帰国次第、訪問する。

生後4カ月までの乳児がいる家庭を全戸訪問する「こんにちは赤ちゃん事業」。新聞報道では、本町の実施率は74・3%と低い結果だが原因は。この事業は、育児の孤立化・虐待防止にも効果がある。意義ある取り組みができていますか。

支援中。

学校内の情報共有、早めの対応、指導など強化していく。

乳児家庭へ

全戸訪問の

実態は

問

生後4カ月までの乳児がいる家庭を全戸訪問する「こんにちは赤ちゃん事業」。新聞報道では、本町の実施率は74・3%と低い結果だが原因は。この事業は、育児の孤立化・虐待防止にも効果がある。意義ある取り組みができていますか。

答

村島健康増進課長

問するもので、本町は他市町より早く生後2カ月での訪問をしており、その時点の数字を報告した。実態は、93・5%訪問しており、残り2人は、外国にいる。帰国次第、訪問する。

質問

空き家・空き店舗

管理条例の制定を

対策について

検討する必要がある

答弁



岩野正則 議員

問

町内に危険な空き家、空き店舗が多数発生している。先進地の事例を参考に、空き家・空き店舗管理条例の制定ができないか。

答

定本町長 これまでに幾つかの自治体がこの条例を制定している。その内容は、問題のある空き家の立ち入り調査を認め、所有者に適正管理を命じる。応じない場合は最終的に名前の公表を定めるなどであ



空き家対策は深刻な課題

問

国土交通省の補助事業などを研究

る。本町も空き家、空き店舗が増加傾向にあるので、条例制定に向けて検討したい。

して空き家の活用促進策ができないか。

答

定本町長

空き家利用の同意は現在11件で商工会へ登録を依頼している。最近、空き家をねらった犯罪が増加している。他に火事や倒壊の危険もある。

久米南町の空き家対策も承知しているので、今後改修補助など促進策を検討したい。

町のにぎわいを

つくる施策は

問

雇用確保・自主財源確保・地域活性化のために企業誘致に向けた取り組みの状況は。

答

矢木産業観光課長 美咲町企業誘致

条例に沿って、誘致企業の立地に際して固定資産相当額を3年間助成する奨励措置を行っている。今回、この奨励策の条例を改正し借地・借家での立地企業へも拡大する。

問

企業誘致のため、町有地の無償貸与などを検討できないか。

答

定本町長

現在、岡山県が指定したメガソーラー候補地が町内に3カ所あるが、厳しい状況である。

中国電力に資料を提供して企業が興味を持てるかの判断を依頼し

ているが返事待ちの状況である。

問

町の活性化にぎわいを作るため、商工業者・農業者・移住者・退職者などへ働きかけて、朝市、日曜日、フリーマーケットなどの開催ができないか。

答

定本町長

12月に旭総合支所の横にみち停ができる。また、たまごまつりが今年3回目を迎える。こうしたイベントを通じて各団体、個人へ働きかけ組織を作ってもらえれば支援していきたい。

問

美咲物産の今後の展開は。

答

岡部副町長

美咲物産の財産を再点検して新たな商品の開発を検討している。

皆さんからのアイデアも募集していきたい。

質問

地方分権改革に
沿った条例制定は

3月議会での

制定を目指す

答弁



貝阿彌幸善 議員

問 地方自治体は、福祉・教育・環境・インフラ整備など、内政各般にわたって非常に多くの事務事業を実施し、国と比べても大きな役割を果たしている。

しかし、多くの場合において、内容・実施方法などの決定権は与えられていなかった。つまり法律や政令で実施が義務付けられ、内容方法が枠付けられていた。これらの義務付け枠

これらの権限が移譲された場合、条例の制定が必要となるが対応はどう考えているか。

答

遠藤企画財政課長

一次一括法については、42の法改正がなされ、町が条例整備できるのは、大法律で十三条例制定できる。福祉、公営住宅、道路法、河川法と各課にわたっている。

条例は専門的なもので、各課で作成し3月議会には制定できるように進めたい。

ふるさと納税

増収に努力を

問

県下のふるさと納税で、美咲町は

件数・金額ともに少ない状況になっている。ふるさと納税の税収増を図り、自主財源の確保につながる努力は必要と思うが現状はどう対応しているのか。

答

難波総務課長

住所地以外の地方公共団体に寄付した場合、所得税、住民税などが控除される制度であるが、地方交付税の基準財政収入額も75%の算入額であり、25%は納税されない制度上の仕組みがある。利点もあれば欠点もあるため、担当職員を置いての積極的なPR

答

定本町長

などの対応は行っていない。区長会などを通じて情報収集、ホームページの活用などにより、美咲町に育った人が少しでも美咲町を助けようという気持ちになってもらえるように、発信していきたいと思っています。



みんなの気持ちが「ふるさと」を元気にする

質問

ガン対策の
具体的な施策は

セット検診を

充実させる

答弁



角南憲一 議員

問

ガン対策基本法の成立により、自治体は地域の特性に応じた施策を策定し、実施する責務を有することになっている。

本町はどのように実施しているのか。

答

村島健康増進課長

ガン対策基本法というよりも健康増進法に基づいて、胃がん・肺がん・大腸がん・子宮がん・乳がんの各検診と高齢者になると増加する前立腺がんを加えたセット検診

で取り組んでいる。

問

医療機関との情報共有は進んでいるか。

答

村島健康増進課長

電子媒体での情報のやりとりはできていないが、町が実施している特定健診などの検査データをファイルに入れ、かかりつけの医師に渡すよう指導している。

これによって診療の参考にしてもらうという範囲での情報の共有化を行っている。

問

町内の医療機関と行政の連携はとれているのか。

答

村島健康増進課長

健康づくり推進協議会の中で町内の医

師が委員として協議に参加している。予防接種などでも連携をとっている。

答 定本町長

岡山県が第三次の夢づくりプランを策定し24年度から実施される。

その中に、医療の支援センターを創設し、医師が都市部に集中せず、無医村を解消する措置が講じられる。

医療機関の減少は大変な問題であり、町が

できる支援を考えたい。

国際交流には
具体的計画が
必要

必要

問

ニュージールランドとの交流が進められているが、その前にベトナム・ベンチエー市との交流は整理すべきではないか。

答 定本町長

ベトナムは経済成長が著しい国で期待をしていたが、言葉が通じにくいこと、体制

の違いから日本に自由に来ることができないという壁があった。交流を1カ所にしたらどうかという意見だが、多くの都市が複数の都市と交流している。

問

姉妹都市緑組を十分調査するべきと思うが。

答 定本町長

調査を目的にして補正予算を計上している。

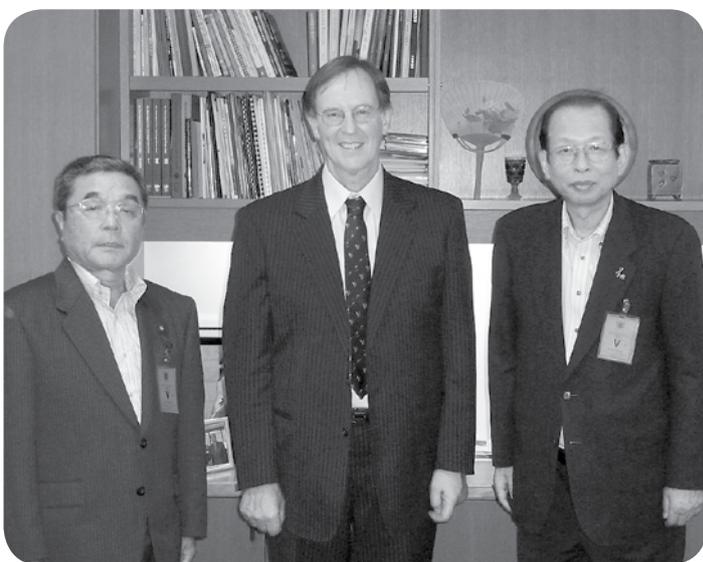
概略については調査しているが、執行部、議会、町民の目を通して現地を視察し、合意できれば調印の運びをしたい。

問

町民に理解される交流計画を策定すべきではないか。

答 定本町長

英語圏との交流により、子どもたちが英語を上手になることはもとより、国際感覚を身につけることが目的である。



交流に向けてニュージーランド大使と面談
(ニュージーランド大使館)

質問

電話相談事業で
安心の提供を

圏域市町村で

具体化の検討中

答弁



林田 実 議員

を行うための有効な手段として、電話相談事業の展開について実務者レベルでの検討を進めている。

健康不安の緩和、軽症患者の適正受診、救命救急センターへの集中回避などの改善が期待されている。

答

津山・英田圏域医療協議会においても実現に向けた協議を進めている。

障害者の自立に
雇用の拡充を

障害のある人の自立を支援していくためには雇用の拡充が最も重要である。

津山・英田圏域の市町村では、救急医療の適正化・適正受診

美咲物産での雇用も含めて今後の展開はどうか。

答 岡部副町長

障害のある人の雇用を拡大するためには、いくつかの問題点をクリアしなければならぬ。例えば、

- ① 企業や地域の理解
- ② 障害の特性、障害者の持つ可能性、障害者の雇用制度など理解と啓発を企業や地域に対して行うことが必要。
- ③ 職場での支援員
- ④ 仕事の進め方、コミュニケーションのとり方などについて支援してくれる人がいればとても有効である。
- ⑤ 仲間と集える場所

答

津山・英田圏域医療協議会においても実現に向けた協議を進めている。



どんどん進む「美作岡山道」、美咲町はいつになる

美作岡山道
今後の見通しは

問

旧柵原町当時から「美作岡山道」の計画には生活面・経済面などに相当の期待があった。

答

環境アセスメントと平行して設計もあると期待している。負担金も支払っているため、岡山県に対して早期完成を強く求めている。

答

池本建設課長
本年度中に柵原地域の環境アセスメン

環境アセスメント

環境影響評価のことであり、大規模開発事業などによる環境への影響を事前に調査をすること。

質問

学校図書室には
専任の司書が必要

図書館司書との
連携などで対応する

答弁



金谷高子 議員

問 本町には旧3町それぞれに図書館を設置している。

22年7月の利用状況は▽旭図書館3108冊・六百六十六人▽中央図書館1782冊・四百一人▽柵原図書館1874冊、四百九十七人となっている。

旭地域は学校と図書館が隣接している関係から格段に利用が多い。しかし、他の地域は学校と図書館が離れているため、子どもたちは学校図書室の利用

答 泉教育長

人間性を養う意味で読書は大きな効果がある。しかし、司書の配置には予算確保の問題がある。

が多いように思われる。すばらしい良書めぐり会えば自分の人生が変わるとも言われている。学校図書室には専任の図書館司書の配置が必要と思うが教育委員会の考えはどうか。

今、学校が抱えている大きな課題として特別支援を要する子どもたちへの対応を図るための人員配置を最優先で取り組んでいる。学校図書司書については、資格を持つ教員と3地域の図書館司書との連携で対応したい。



楽しみにしている朝の読み聞かせ（柵原東小学校）

セカンドブック

事業の推進は

問

美咲町の子育て支援の中にブックスタート事業がある。

この事業は、乳幼児の健診時に絵本のプレゼントをすることである。これに対してセカンドブックとは、二番目に本の贈呈運動をすること。本格的に文字を習う小学校入学のとき新入生全員に本を贈ってはどうか。

答 泉教育長

富田教育福祉基金もあるので、そういったものの活用も合わせて考えていければと思っている。

子ども議会の開催を

問

今回若者定住を目的とした留町奨励金が支給される。若者定住を図るためには、子どもの頃から町に関心を持たせる必要

がある。

子どもの目線で意見を町政に反映させる子ども議会を開催してはどうか。

答 定本町長

行政指導ではなく、子どもたちの方から町政に関心を持ち、疑問や質問を取りまとめて開催できればと思っている。

10リットルのゴミ袋はできないか

問

お年寄りの一人暮らし、若い人たちから45リットルの袋は大きすぎる。10リットルの小さいゴミ袋は出来ないかとの要望があり前回は質問している。その後の状況はどうなっているか。

答 定本町長

需要と供給の関係でたくさん需要があれば作れるが、現段階ではあまり要望はない。要望があれば作る。

質問

諏訪神社を
県指定文化財に

専門職と相談し
県と調整したい

答弁



江原耕司 議員

問

諏訪神社周辺には弥生時代以前の古墳群があり、昭和42年に境内中央に堅穴式住居が復元された。現在は町指定の文化財に登録されているが、岡山県指定の文化財登録はできないか。

答

泉教育長

古墳については昭和62年に町指定文化財に史跡指定。平成19年に茅葺屋根の改修工事を実施し、平成20年には住居跡近くに消火栓設備を設置した。

問

これまで多くの人が古代文化財の保護に努力を続けている。県指定については、専門職がいないので相談できる人と話をしながら県と調整したい。

答

遠藤企画財政課長

このほど神社近くまで下水道管が埋設された。町指定の文化財なのでトイレの改築を町負担でできないか。



文化財の保護は重要（諏訪神社弥生式住居跡）

問

中央グラウンド
ゴルフ場トイレ
駐車場は

中央かめつちグランドゴルフ場は公認コースとなっている。先の大会に七百人程度の来場者があったがトイレ・駐車場が少ないため参加者から苦

答

定本町長

指摘の場所は保安林になっているため整備ができない。駐車場には住宅団地の近く

問

LED防犯灯
補助金とは

に空き地がある。ここを利用願いたい。トイレは、近くに消防団女性部機庫を建設するので、ここを使用できるように考える。

答

遠藤企画財政課長

町内に防犯灯が2000基程度あると聞いているが、最近主流となっているLED防犯灯への補助はどう対応するのか。

これをLED防犯灯に変更すれば、従来の蛍光灯より長持ちがして電球交換費用・電気代も安く抑えられる。取替えに際しては一灯につき一万円を補助する。

質問

地域に伝わる民話で
情操教育を

具体的な提案があれば

応援する

答弁



梁山朝子 議員

問 核家族化のもとで昔ばなしが受け継がれにくくなっている。

ごくむことに対する具体的な提案があれば生涯学習推進の立場から教育委員会として応援していきたいと考える。

答 本町では、身体・知的・精神に障害があり移動が困難な人に対して、外出支援による自立生活・社会参

障害者へ移動費
補助の内訳は

問 障害のある人が移動する場合、交通費の助成はどうなっているか。

加を促進するために障害者移動支援事業を実施している。

身体障害者手帳（一級・二級）、療養手帳、精神保健福祉手帳一級を所持している人にタクシー券（五百円券を24枚・一万二千円分）、給油券（千円券を6枚・六千円分）、人工透析を受けて通院治療中の人に1日五百円（月額七千円を限度）をそれぞれ支給している。

保育園の

検討充実を望む

それぞれの地区で安全確保の対策を考えてもらいたい。

問

柵原の統合保育園検討委員会が開催されているが、地域からはさまざまな疑問、質問が聞こえてくる。

災害時避難場所
に配慮を

問

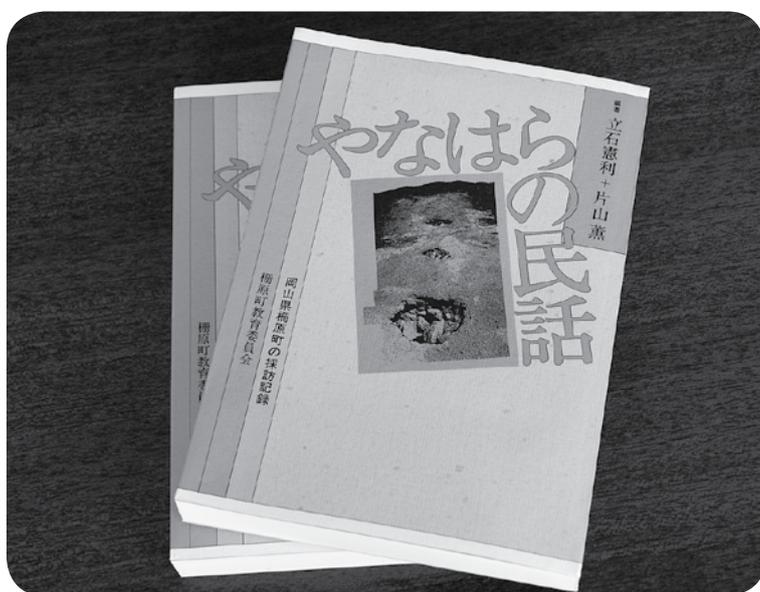
吉ヶ原緑町にある老人憩いの家のように災害時の避難場所に指定されている施設に対して、バリアフリー化など安心・安全のための配慮ができませんか。

答

定本町長 設計事務所から提案のあった図面を基に、委員の意見を集約し、その中での疑問に答えながらより良い施設となるように検討していく。

答

定本町長 子どもたちの豊かな情操を育て、生まれ育った郷土の伝統文化を知って郷土愛をは



地域文化の原点を後生に伝えよう

答

定本町長 町の条例に基づいて交付される施設整備補助金を活用して、

質問

吉井川の内水対策は
急を要する

国・県と調整する
必要がある

答弁



松田英二 議員

問

大正〜昭和〜平成にかけての100年間に吉井川のはんらんによる大規模な洪水被害は、昭和9年の室戸台風、昭和20年の枕崎台風、昭和38年の集中豪雨、昭和54年の20号台風、平成10年の10号台風などで、平均すると20年周期で発生している。

大きな被害をもたらす原因となる内水を排除するための計画はこれまでで策定できているか。

答

中西柵原総合支所長

平成10年の災害を受けた後の平成12年に旧柵原町で内水対策の計画書を策定した。

問

その計画に沿う形で整備が行われる公共下水道柵原地区の雨水排水対策は全て認可されているのか。

答

上本上下水道環境課長代理

1期計画で実施する藤原地区は認可されているが、2期計画で実施する久木・小瀬地区はまだ認可申請できていない。

問

他にも内水被害が想定される塚角・大戸下・飯岡・高下などの地区に対して

はどのような対応を考えているのか。

答

塚角・飯岡・高下地区は、県営中山間地域総合整備事業で排水ポンプ場の整備を26年度から5年計画で実施する方向で考えている。大戸下地区については検討中である。

問

平成10年の大災害から既に13年が経過している。近年の異常気象の状況を観ると、今ある計画を前倒

してでも雨水排水対策のスピードアップを図る必要があるのではないか。

答

定本町長

前々から計画している内水対策は一日でも早く取り掛かりたいが、補助事業であるため国、県との調整が必要である。

問

本町の生活雑排水の処理対策は、

生活排水処理対策の方向性は



内水を排除するための排水ポンプ場（津山市茅町）

国土交通省の公共下水道、農林水産省の農業集落排水、環境省の合併処理浄化槽で進めている。

もう一つ総務省が所管する生活排水処理事業がある。

▽小規模集合排水処理整備事業は、20戸程度の小集落を対象とする小規模な下水道事業。

▽個別排水処理整備事業は、行政が各家庭へ合併処理浄化槽をレンタルする事業。

いずれも行政が入札により工事発注し、利料を徴集して維持管理を行うことになる。

ここに新たな雇用の発生が見込める。調査、研究の価値はあると思うが町の対応はどうか。

答

定本町長

研究する価値は十分にあると思われるので調査してみたい。

質問

新設された

公共施設の検証を

可能な部分は

検証していく

答弁



日神山定茂 議員

問

中央中学校の校舎が完成し9月から使用される。

現場の声・設計事務所
の考えなど十分検討してあらゆる所に気を配りながら工事を進めていたと思う。

しかし完成した施設のすばらしいところ、不備なところ、改めたほうがいいところなどをその都度記録に残し、その後の事業に生かす事はできないか。その建物にふさわしく、丈夫でメンテナンス



完成した新校舎（中央中学校）

スガしやすく、それに費用がかからないのが重要だ。

地元の専門家などに検証してもらったらどうか。

答

桑元教育総務課長
担当者も変わっていき中で、気づかなかった部分など記録に留め、次の計画に生かすために検証していく。

答

定本町長
設計段階において

緊急時に役立つ

自治体交流を

問

政令都市と東京都は、災害時相互
応援協定を結んでいる。災害時には消防隊員・保健師などを派遣したり、復興する中で特産品の販売など手伝えることが多くある。

平素から文化や各種の交流でお互いの町を高めていく中で、緊急時には平素の信頼関係と連絡網でスピーディーかつタイムリーな災害支援ができるのではないか。

答

定本町長
国際交流も進めるが国内の交流も大切だ。行政間で文化の交

て、これでもいいということであっても、完成後反省点が出て来ることもある。

検証は次世代につながるよりよい計画のためにも必要だと思う。

投票率向上に

向けた施策は

問

選挙告示の翌日から期日前投票ができる。高齢者には宣誓書も大変である。なんとか投票率を上げる方法は考えられないか。

答

定本町長
公職選挙法で定められており、独自の選挙制度を設けることはできない。広報活動などで選挙・政治に関心を持ってもらうよう努力する。

今、棚田サミットも行っているが、これを足がかりにしてそういう交流も進めていきたい。

流など親しく情報交換をしながら、平素の交流をしていく。根底にそういう交流を行いたがらいつい災害が生じたとき連携することができるといい。

議会に ひとつこと

【議員定数】

- ◆定数は削減すべき。
- ◆定数は5人程度削減すべき。
- ◆定数は半減すべき。
- ◆定数は現状が限界である。

答 多様な住民意見の集約と行政機関の監視機能を担う議員の定数は慎重に検討すべきものと考えます。

【議員報酬】

- ◆報酬を削減すべき。
- ◆報酬は現状が良い。

答 市議会議員の報酬に比べて町村議会議員の報酬は半分程度です。有能な議員を育成する策が必要と考えます。

【議員の対応】

◆議員定数を減らす事よりも、住民の為に尽力を惜しまないという議員資質の向上

が一番大切。

答 専門的な知識の習得、グローバルな視点に立った考え、政策立案の活発化など

資質向上に向けた努力を続けてまいります。

◆30代〜40代の若い議員の登場を願う。

答 働き盛りの世代が政治にかかわる為には、子育ても含めた生活の保障に対する

理解が必要となります。

◆地域の状況に気を配り、住民の声を届けたい。

答 常に町民との対話を心がけていきます。

◆議員の活動が見えない。地域ごとの報告がほしい。

答 各地域の機会などに参加できる機会を与えて頂ければ幸いです。

◆議員の出動日数、活動内容を公表してほしい。

答 他県の市町村の動向などを調査し、美咲町の実情にあった政策提言を進めていきます。

答 この議会だより23ページの議会活動内容をご参照ください。

◆議員同士の論戦が観たい。

答 議会本会議場における討論の活性化を目指します。

◆各議員の質問内容が出身地域の事柄に偏り過ぎてはいないか。

答 まずは一地域の実情を把握した上で、町内全域の状況改善を図る方向で議論しています。

答 それぞれの現場の状況、国・県・周辺の市町村の動向、財政面での検討などを議論した上での決定を心掛けていきます。

◆研修とは名ばかりの旅行があるのではないか。

答 視察・研修は議員の視野を広げる意味において、最も重要な資質向上のための手段です。

◆他県から移住すると

答 今、議会改革特別委員会では活発な議論を進めています。議会はどう変わるべきか、皆さんのご意見もお聞かせください。

◆議会での政策議論はできていないのか。

答 町職員の方に対しては、もともとしっかり指導してほしい。

○小・中学校へのエアコン設置が必要とは思えない。

○柵原の保育園は一園に統合すべきだ。

○柵原の統合保育園建設地は変更する必要はある。

○ニュージラントとの交流は今本当に必要なのか。

○打穴小学校の跡地は老人福祉の施設にすべきだ。

答 執行部の疑問の質疑が単調すぎる。原稿を読むだけの質疑は必要ない。

答 権、質疑応答の回数増加などにより議論の充実に努力していきます。

◆各地域で議会報告会を開催してほしい。

答 意見交換会の実施は議会改革特別委員会検討中です。

◆町民が納得する議会改革を望む。

答 今、議会改革特別委員会では活発な議論を進めています。議会はどう変わるべきか、皆さんのご意見もお聞かせください。

◆他県から移住すると

答 今、議会改革特別委員会では活発な議論を進めています。議会はどう変わるべきか、皆さんのご意見もお聞かせください。

◆他県から移住すると

答 今、議会改革特別委員会では活発な議論を進めています。議会はどう変わるべきか、皆さんのご意見もお聞かせください。

議会だより8月号で美咲町議会に対するアンケートを実施したところ、たくさんの住民の人から反響を頂きました。厳しいご意見に対しては議会全体で気持ちを引き締めて対応していきます。紙面の都合で全部のご意見は掲載できませんが、主なものを紹介します。

議会費あれこれ

平成22年度の議会管理費支出額は九千七百七十四万九千五百五十九円で、一般会計に対する割合は0・76%となりました。主な項目は表のとおり。

【議会費】

項目	金額
議員人件費	6,155万9,574円
一般職員人件費	1,218万4,463円
経常管理費	395万5,935円 (議長交際費14万8,000円含む)
各種負担金	1,327万8,237円
監査委員費	76万3,750円
合計	9,174万1,959円

【議会活動日数】

各議員が一年間に公務で活動した日数をまとめてみました。

議長	245日 (町外・県外を含む)
副議長	124日 (町外・県外を含む)
議員 (14名)	平均96日 (町外・県外を含む)

各議員によって異なりますが、表記の数字に各地域行事への参加日数が加算されることとなります。

【議員報酬について】

議員が受け取る月額報酬は次のようになっています。

議長	副議長	常任委員長	議員
31万5,000円	26万2,000円	24万6,000円	24万円

※表記の報酬に加えて期末手当を6月に1.45ヵ月分と12月に1.65ヵ月分支給しています。

※議会だより編集委員6人には年額4万円(委員長は5万円)を支給しています。

※議会選出の監査委員1人には、出頭日数×7,400円を支給しています。

※各組合議会開催時(年間平均2回)には日額6,000円程度を支給しています。

◆他の市町村が支給している政務調査費・委員会手当などは支給していません。

【議員年金は廃止】

国会議員の年金制度廃止に伴い、平成23年6月1日より「地方議員年金制度」も廃止されました。(ただし、受給資格者は年金受給か一時金受給かを選択することができます。)

【退職金】

従来から議員には「退職金」はありません。



町民の皆さんこんにちは
サークル紹介第12回
広がる仲間 心を満たす絵画の世界

旭水彩画教室



町内のサークルを紹介します。
楽しいサークル、ユニークなグループと連絡ください。
議会広報委員がおじゃまします。

いつ頃から活動していますか

平成11年から始まり、今年で12年目です。

どんな活動をしていますか

毎月第2・4金曜日(昼の部・夜の部)旭町民センターで水彩画を描いています。

野外スケッチ・美術館バスツアー・作品展も行っています。

メンバー構成は

半年が1単位で、現在、中学生から80歳までの14人です。

活動を始めたきっかけは

田中佳美先生が、13年前、神奈川県から移住されたとき、個展を開いたのがきっかけで講座が始まりました。

楽しいことは何ですか

いっしょに描く仲間が広がることです。

最近嬉しかったことは

諸展示会への出品や、公募展入選など、各人の目標ができることです。

これからの活動は

絵はひとりでも楽しめる世界です。地域のより多くの人に、描くことを伝えたいと思います。

議会に一言

経済中心の社会では文化的なことがとかく削られがち、町民の心が満たされなくては元気な美咲町になりません。

皆さんが持っている感性で美咲町を未来色に染めて下さい

編集後記

先日、高知県馬路村の上治村長の講演を聴くことができました。

馬路村の人口は、約千人。廃村の危機を救ったのは、ほん酢しゅうゆと柚子ドリンク。柚子加工品の年商は、約32億円。加工品、柚子生産者で村の3割の雇用を確保する、まさに柚子で成り立つ元気な村です。

成功の秘訣は、地域に誇りをもつこと。地域資産を生かし、どんなことも一番にすること。現状で満足せず、常に新しいアイデアを考へることだそうです。誇りがもてる美咲町、町内外に自慢できる地域づくりに皆さんと共に頑張ります。(松島記)

議会広報編集特別委員会

委員長 松田 英二

副委員長 小島 洋征

委員 岩野 正則

委員 金谷 高子

委員 草苅 良明

委員 松島 啓